

秩父宮記念第48回 富士登山駅伝競走大会

区間	選手	距離	記録
第1区	大山敦史 2曹	6.19km	24:27
第2区	後藤 3曹	4.64km	23:18
第3区	山岸 3曹	4.54km	23:12
第4区	小池 2曹	2.84km	30:32
第5区	大山賞之 2曹	4.24km	52:36
第6区	清水 2曹	4.92km	50:36
第7区	大山賞之 2曹	3.66km	9:11
第8区	小池 2曹	2.59km	8:49
第9区	山岸 3曹	4.44km	13:25
第10区	後藤 3曹	4.64km	13:25
第11区	大山敦史 2曹	5.49km	17:37
総合記録		4:27:24	順位 16位



力走する小池2曹

七合五勾中継所(往路)にて大山2曹から清水2曹へ襷をつなぐ。

力走する後藤3曹



令和五年八月六日(日)、標高差三一九九メートル、気温差二十度以上のコースを六名の選手が襷をつなぐ世界一過酷な駅伝大会として知られる秩父宮記念第48回富士登山駅伝競走大会が開催された。駒門駐屯地所属の機甲教導連隊から、大山賞之二曹、清水二曹(本部管理中隊)、後藤三曹(第一中隊)、大山敦史二曹、山岸三曹(第四中隊)、小池二曹(戦闘中隊)の六名が参加し、その健脚をもって各区間を力走した。機甲教導連隊チームについては、自衛隊の部二十八チーム中第十六位の成績を取めた。全力を出し切った六名の選手は互いの健脚を讃え合い、翌年の更なる躍進を胸に誓い、第48回大会の幕を閉じた。



機甲教導連隊各中隊合同チーム。互いの健闘を讃え、記念撮影



太郎坊中継所(復路)にて小池2曹から山岸3曹へ襷をつなぐ。

インターンシップ



駐屯地に関する説明を熱心に聴く天竜高校の生徒ら



トレーニング用マネキンを用いて心肺蘇生法及びAEDの使用法を体験する生徒

令和五年七月十二日(水)、学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験をすることを目的としたインターンシップに、静岡県立天竜高等学校の生徒七名が参加した。当初、自衛隊の任務、活動状況、職種及び階級制度等の概要を説明、その後、96式装甲車の体験搭乗、救急法(トレーニング用マネキンを用いた心肺蘇生)及び自動体外式除細動器(AED)の使用法を体験した。七名の生徒は初めて体験する事項に興味津々な様子であった。

74式戦車体験搭乗イベント



朝霞駐屯地へ向けて前進準備中の74式戦車



歓声を上げる体験搭乗者

令和五年六月三日(土)、四日(日)、陸上自衛隊広報センター(朝霞)において、74式戦車体験搭乗イベントを実施した。東部方面管内の茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・新潟・山梨・長野・静岡地方協力本部を通じて自衛官募集対象者及び一般公募による体験搭乗者(約五百六十名)を対象に、二日間約五百六十名が74式戦車に搭乗し、その迫力ある装軌音、振動、スピード感に体験搭乗者は歓声を上げた。



広報
駒門
KOMAKADO

発行所
駒門自衛隊協力会
事務局：富士岡支所
TEL 0550-87-0976
裾野市自衛隊協力会
事務局：裾野市役所
TEL 055-995-1874

連絡所
駒門駐屯地広報
〒412-8585
御殿場市駒門5-1
TEL 0550-87-1212

印刷所
エビスLLC
〒412-0021
御殿場市牧橋312-1
TEL 0550-70-0022



機甲教導連隊 最前任上級曹長交代

機甲教導連隊は、令和五年七月二十七日(木)、駒門駐屯地体育館において、最前任上級曹長交代式を実施した。

機甲教導連隊立ち上がり当初から尽力してきた福田准尉は、富士教導団最前任上級曹長へ栄転した。

令和五年八月一日付で第二代最前任上級曹長に上番した飯田准尉は、「基本基礎の徹底を図りつつ、常に問題意識をもって指導にあたる」を掲げており、今後のより良い機甲教導連隊への道標となることを期待している。



第2代最前任上級曹長 飯田准尉



初代最前任上級曹長 福田准尉



90式戦車の横行行進車



クレームシス・フォン・ゲッツェ駐日大使を乗せて快走する16式機動戦闘車



点検射前の参加車両勢ぞろい



森下泰臣陸上幕僚長とアルフォンズ・マイスドイツ陸軍総監の信頼の握手

国際活動教育隊
令和五年六月二十一日(水)、国際活動教育隊はタイ王国陸軍の来訪・研修を受けた。陸上自衛隊のPKO等の国際平和協力活動、国際活動教育隊の活動に関するブリーフィングや訓練場の研修を通して、自衛隊の国際貢献を理解していただくとともに、意見交換を通して日タイ間の連携強化を図ることができた。

研修・意見交換は終始和やかな雰囲気で行われ、有意義な来訪・研修対応となった。今後のタイ軍との関係性の発展に期待したい。



訓練宿営地研修



会食・懇談

第一高射特科大隊

令和五年度北海道訓練センター訓練

第一高射特科大隊は、令和五年七月二十七日(土)から六月十五日(木)までの間、令和五年度北海道訓練センター訓練第一次運営に参加した。矢白別演習場にて、諸職種協同に必要な練度を向上させているとともに、木訓練の場合に、第一次師団訓練検閲



新隊員後期教育開始式

第一高射特科大隊は、令和五年七月三日(月)、駒門駐屯地において、新隊員後期教育開始式を実施し、後期教育入隊者二十三名(第十二高射特科隊配置隊員五名を含む)の駒門駐屯地への着隊を歓迎するとともに、教育開始に当たって、高射特科隊員としての使命と教育担任官企図の徹底を図り、被教育者の士気を高揚させた。



銃を受け取る新隊員



大隊長に申告する新隊員

駒門駐屯地業務隊

キッズサポートセンター開設・運営訓練

令和五年七月二十六日(水)業務隊は、「キッズサポートセンター」開設・運営訓練を実施して緊急登庁時における子供の預かりから保育員引き渡しまでの一連の行動を演練し、有事における後方支援基盤の強化を図った。



受入れに伴う各種手続きを実施する隊員



預かり保育を実施する隊員

高射直接支援隊

令和五年度第一回炊事訓練

高射直接支援隊は令和五年七月二十六日(水)、駒門駐屯地において、令和五年度第一回炊事訓練を実施した。炎天下の中、流れる汗に注意を払いながらカレーライス及びバスタサラダを調理した。訓練



切り込みを実施している隊員



カレー調理中の隊員

富士燃料出張所

関東補給処創立記念行事

富士燃料出張所は令和五年六月三日(土)に渡ヶ浦駐屯地で実施された、渡ヶ浦駐屯地開設70周年及び関東補給処創立25周年記念行事に出張所長久慈三佐以下九名が参加した。



関東補給処創立記念行事に参加する富士燃料出張所

関東補給処長は、「プロを支えるプロの誇りと進化」を要旨として、所員はプロの誇りを改めて確認し、新たな一歩を踏み出した。



駒門自動車教習所

指導員・学生所属部隊長等激励



中隊長による学生への激励

駒門自動車教習所として令和三年度から実施している「教習指導員及び教習学生の差出し部隊長・先任上級曹長等激励事業」を令和五年度も継続して行っている。本事業の趣旨は、教習指導員の勤務実態を把握して評価の資にするもの及び教習学生の上気高揚を図るものである。本年度は、現在までに延べ八個部隊、十五名の来所者があり、激励を実施していた。今後も、引き続き本事業を行い、各部隊等に浸透させていきたい。

警務隊駒門連絡班

夏の交通安全県民運動



通勤者の呼気検査を実施する隊員

令和五年度夏の県民交通安全運動に伴い、令和五年七月十八日(火)、正門前及び駐屯地内において駒門駐屯地業務隊と連携し、車両等による通勤者を対象とした呼気検査等を実施し、飲酒運転の悪質性及び危険性について認識を深めるとともに、交通ルールとマナーを遵守し、飲酒運転を絶対に許さない、子供と高齢者との交通事故防止への意識向上を図ることができた。

富士地域援護センター

静岡県自衛隊合同企業説明会



企業からの説明を受ける隊員

自衛隊静岡県地方協力本部は、令和五年七月二十六日(水)、グランシップ静岡において、令和五年度静岡県自衛隊合同企業説明会を担任、県内就職希望隊員三十五名が参加、企業については一人でも多くの隊員獲得のため九十四社が参加した。

転入指揮官紹介



2佐 西村 直樹

転出指揮官紹介



2尉 奥山 貴志

第一高射特科大隊長 佐 矢部 国会
転出先…東部方面総監部朝霞
第三〇五基地システム通信中隊駒門派遣隊長 二尉 大原 和樹
転出先…第三一六基地通信中隊(練馬)

国際任務



3曹 増田 貴子

◆国連三角 パートナリシップ プログラム
令和五年七月十四日帰国
昨年にも増して始まるような暑さが続いた夏、各駐屯部隊は暑さに負けず訓練等に励んで参りました。
随分過ごしやすくなりましたが、広報駒門をご覧の皆様、引き続きお体に気を付けてお過ごし下さい。

Twitter 祝 1万人突破!

フォローお願いします!